

第1回避難訓練(バスジャック対応)

4月15日(月)

本日3校時、バスジャックを想定した避難訓練を実施しました。バス乗車訓練と同様に、すべての校外学習や国際交流で外出することを想定し全員で訓練を行いました。はじめに、担当教師が、緊急時の注意点を確認しました。犯人と目を合わせない、顔を見ないこと。そして、緊急時にセキュリティスタッフが使用する「言葉」を確認しました。

「Quiet」「Get down」「Run away」の3つの言葉をそれぞれのバスのセキュリティに言ってもらいながら、全員でそれぞれの指示を確認しました。その後、ガーデナーさんに犯人役をしていただき、実際の訓練を行いました。常日頃から言われている「訓練は本番のように。本番は訓練のように。」をどの児童生徒も良く守り、セキュリティの指示に従いながら訓練を行うことが出来ました。



訓練への臨み方、バスジャック発生時の注意点についてしっかりと説明を聞くことが出来ました。

「訓練は本番のように！」

セキュリティの「Get down」の指示にしっかりと従っていました。





「Run away」の指示で素早く
バスを降車しています。

今回の訓練視察のために大使館からお越しいただいた登坂警備対策官様から、緊急時の注意点、また、身近な危険地域について資料をもとにお話をいただきました。



訓練を見学していただいた保護者の皆様の感想をご紹介します。

- ・バスジャックを想定しての訓練でしたが、非常事態での振る舞いを考えさせられる良い訓練だと思います。バスに乗らなくても、心構えを知るだけでも価値があると思いました。
- ・子どもたちの感想の中に「年長者が年少者を助けるべき」というものがあつたのが気になります。その精神は褒めるべきですが、非常事態にあつてはまず自分の身を守ることを考えて欲しい所です。先生方からもそういった指導があればと思いました。
- ・防災訓練は子供の頃に経験しましたが、バスジャック訓練は初めての光景で、大人でも非常に良い経験になりました。
- ・子供達も一生懸命に先生の話に耳を傾け、頑張つて訓練を受けている姿に胸がいっぱいになりました。ここは日本ではなく、南アフリカであるという事、日々気を引き締めて生活しなければいけない事を再認識させられた1日でもありました。
- ・この訓練が実際に起こらない事を切に願いますが、訓練を通して子供達の自衛意識を高めてもらえたらと思います。

- ・貴重な経験をさせていただき、大使館警備部、JSJの先生方に心より感謝申し上げます。
- ・子供達が真剣に話を聞いて、冷静に行動していたのが印象的でした。
大使館の方のお話にあったハイジャックの多いエリアが、学校の近くだったり住んでいるエリアだったので、通学時以外の普段の生活でも気をつけていきたいと思いました。
- ・例年に比べて優しい内容だったので、低学年の子達も泣くことがなく平和に訓練が終えられて良かったです。一方で、色々と危険な経験をする可能性が高い地域に住んでいるという状況は変えられない中、訓練という形で擬似体験する機会は大切です。
- ・子どもたちはこういった訓練に真剣に取り組み、いざそのような場面に出くわした時に正しい行動が取れるよう引き続き学んで欲しいなと思います。
- ・個人レベルではできない訓練をさせて頂き、有意義だと思いました。大使館の方のお話も勉強になりました。ただ、犯人役をもう少し増やしてもいいのかなと思いました。実際の犯罪現場はどうか分からないのですが、4.5人に囲まれた方が緊張感やリアル感が増すのでは。
- ・バスジャック訓練を見学して驚いたのは2点あります。
1つ目は生徒の皆さんがしっかりと先生の話聞いて訓練に臨んでいたことです。
2つ目は訓練の後にしっかりとグループで話し合い、今後どう活かしたら良いかと考える時間があったことです。
- ・最初はどんな訓練かとドキドキしましたが、見ていて少し安心したところもあれば、どこまで本番に近づけるべきなのか考えさせられる場面もありました。国の特性上、訓練の内容が変わったとしても続けて行って欲しいなと思いました。
- ・ふだんはスクールバスには乗らない子や初バスジャック訓練の子もセキュリティさんの言葉に従って、列を作って避難できていました。願わくば、リアリティが増すように、セキュリティさんが緊張感を出してほしかったです。Bバスはセキュリティらしい動きができていて心強かったです。

貴重なご意見、ありがとうございました。

今後の訓練、教育活動に活かしてまいります。